

議員提出第1号議案

政治分野における女性活躍の推進を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成30年3月28日

提出者	稲城市議会議員	渡 辺	力
賛成者	〃	大久保	もりひさ
〃	〃	榎 本	久 春
〃	〃	荒 井	健
〃	〃	山 岸	太 一
〃	〃	中 田	中
〃	〃	原 島	茂

(提案理由)

政治分野における女性活躍を推進するため。

政治分野における女性活躍の推進を求める意見書

少子高齢化、人口減少社会の中で、我が国の持続的成長を実現し、社会の活力を維持していくためには、国民一人ひとりが、その個性に応じた多様な能力を発揮できる社会を構築する必要があり、特に、我が国最大の潜在力である女性の能力をいかすことが不可欠である。

世界経済フォーラム 2017 年 11 月、世界経済フォーラムが発表された「ジェンダー・ギャップ指数」において、日本の順位は 144 ヶ国中 114 位と過去最低となり、その主な理由は、他国の政治状況と比べて、日本国内での女性の政治参画が遅れていることが大きな要因であるところである。

そこで、政治分野における女性活躍を効果的かつ積極的に推進し、男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与するためには、男女共同参画社会基本法の基本理念にのっとり、政治分野における女性活躍の推進について、基本原則、国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、政治分野における女性活躍の推進に関する施策の基本となる事項を定める必要がある。

現在、超党派の国会議員から、政治分野における女性活躍の推進について議論が提起されているところであり、国、地方自治体のいずれの議会においても女性議員の増加を促し、男女が共に政策決定に参画する議論を開始しなければならない。よって本議会は、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律案」の早期制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成30年 3 月 28 日

稲城市議会議長 北 浜 けんいち

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画） 殿